

I. 墮落人間

- ・ **自分も知らず**にある悪の勢力に駆られ、本心が願う善を捨て、願わない**悪を行うように**
⇒ 悪の勢力の主体：サタン

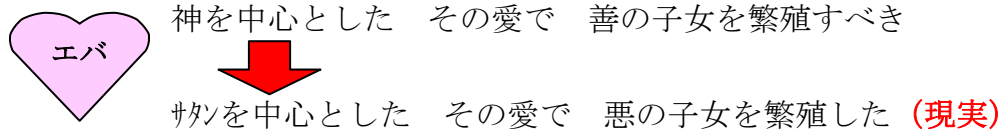
II. 生命の木と善悪を知る木

- ・ 創造理想を完成した男性
- ・ 創造理想を完成した女性

III. 善悪の果

結論： **善悪の果** = エバの愛

背景：



エバ(その愛により)：善の実も、悪の実も実らせることのできた成長期間を通じて完成されるよう創造された

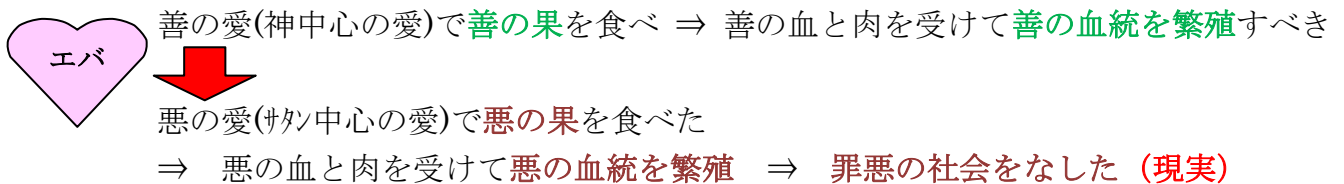


参考)

- ・ 愛によって一体となれば、互いにその対象からその要素を受けよう創造 (p109)

「善悪の果を食べた」とは？

「食べる」 = それをもって自分の血と肉になるようにする



結論： 彼女がサタン(天使)を中心とした愛により互いに血縁関係を結んだということを意味

IV. 罪の根

天使と不倫な血縁関係を結んだところ

➡ 彼らは神の善の血統を繁殖できず、サタンの悪の血統を繁殖するように
(罪の根が血縁的な関係で成り立ったため、この原罪は子々孫々に遺伝)